

国際交流員オギー通信

Сайн байна уу
サインパイノー!
(モンゴル語で「こんにちは」)

行き、2人を結婚させたいとお願いし、花嫁の父親から許可をもらう儀式です。チンギスハーンの父親であるイエスヘイが、嫁請いの帰り道で毒殺されたことで、父親の代わりに親族が行くようになったそうです。団長は、花婿側の中で「離婚歴がなく、子供がいる、しきたりをよく知っている、話が上手、花婿に合年（例えば、丑には巳と酉が合う）」つまり、皆に尊敬されている立場の年配男性が選ばれます。他のメンバーでは、雰囲気盛り上げられる、馬頭琴の演奏ができ、賛歌を歌える、お酒が強い人など男性陣が中心で、ごちそうやお土産を担当する年配の女性などが入ります。

2人が夫婦になると決め、花婿側が嫁請いに来たからといって、花嫁の父親が知っていながら断る時もあります。例えば、私の姉達の時は、父親が「大切に育てた娘を簡単に渡せない」と伝え、家にも入れずに帰しました。数ヵ月後、2回目の時に許可しました。現在は、私の父親のように断る人はほとんどいませんが、みんなが祝福している場合はわかりやすいです。花嫁の実家に大勢の親族が集まり、ごちそうを並べて待っています。晩婚の場合は、断る場合ではないので花婿の親族が大歓迎されます。

この日は、縁起のいい時間に「嫁請い」の儀式を行い、花嫁側の許可が下りれば、2人の結婚式の日程、費用、財産の出し分けなどについて話し合います。もちろん、部族と住んでいる地域によって「嫁請い」の儀式は少し異なります。

今回は、嫁請いの儀式的続き、モンゴルの文化が詰まった結婚式について話したいと思います。

モンゴルの「嫁請い」儀式

問合先 自治振興課

モンゴルの旧暦で「秋の中月の17日」という一年間で最も縁起がいい日があります。今年は9月18日にあたりました。この日に新しい家を買ったり、結婚式を挙げたり、嫁請い儀式を行ったりします。その中で、今回は「嫁請い」儀式について話したいと思います。

モンゴルでは、結婚を挙げる前に「嫁請い」という儀式を必ず行います。「嫁請い」とは花婿側の親族が花嫁の実家へ

◀嫁請い



オギー
▶国際交流員の



今月のモンゴル語

- Хүргэн (フルゲン)：新郎
- Сүйт бүсгүй (スイテ・ブスグイ)：新婦
- Гэрлэх ёслол (ゲルレフ・ヨソロル)：結婚式

【ひとことアドバイス】
●コインパーキングを利用する際は「1日最大〇〇円」などの大きな表示だけでなく、その他の細かい条件も入庫前に事前に確認しましょう。

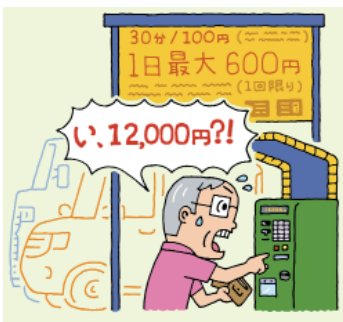
【事例】
駅前の駐車場の看板に「〇〇分〇〇円、1日最大600円」と記載があり、3日間でも1,800円になると思っていたところ、約3日間駐車したところ、約1万2千円の請求を受けた。すぐに事業者へ連絡したが、最大料金の適用は1回限りで、その後は時間制で料金が発生すると言われた。説明を受けて改めて看板をよく見たら、小さな文字でその旨が書かれていた。(60歳代)



「1日最大〇〇円」コインパーキングの料金は細かい条件も確認を

困った時は、消費生活センターにご相談ください。

参考…(独)国民生活センター「見守り新鮮情報第490号」



▲イラスト：黒崎 玄

●料金には、最大料金の適用回数や駐車位置、時間帯などに細かい条件がついていることが多く、平日か休日かで異なったり、年末年始やイベント開催時には特別料金が発生したりすることもあります。利用し慣れているコインパーキングであっても料金設定が変わっていることもあるので、入口付近や精算機付近の詳細案内に目を通し、不明な点はコインパーキング事業者を確認しましょう。

●看板などの表示を写真等で記録に残し、領収証も忘れずに保管しておきましょう。